

企画名：東アジア脱原発青年交流会

団体名：ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン

1. 報告要旨

2024年9月にソウルで開催した「東アジア脱原発青年交流会」には、韓国、台湾、日本から17名の参加者が集い、成功裡に終了した。

主要プログラムの一つは9月7日の「気候正義行進」への参加だった。3万人の市民による熱気あふれるデモで、気候正義行動と脱原発が密接不可分のものとして取り組まれている現場を参加者全員で体感することができた。ソウルの繁華街の路上で、アーティスティックかつ大胆な方法を用いて自由に自己表現をする多数の若者たちの姿は、日本の青年たちに国内での運動のあり方という点で大きな示唆を与えた。

もうひとつのプログラムの柱は、9月8日に行われた3カ国の若者による座談会だった。参加した全員が、自分の現場をもって日々運動に関わっている青年たちだったこともあり、各国の現状や課題を共有しつつ広い視野からの問題提起で議論が深まった。また、25年5月にアジア初の脱原発を実現する台湾で開催予定のノーニュークス・アジアフォーラムにおいて、さらに参加国を増やした形で青年たちの交流機会を持つことについても前向きに議論された。互いに異なる環境の中にあっても、ことばや文化の違いをものともせず青年たちが運動の課題や解決策などについて情報交換や相互交流を行う様子は、未来への希望を感じさせた。

10月12日に、韓国での成果を共有するためにハイブリッド形式で日本国内向けの報告会を開催した。台湾から青年交流会に参加してくれた青年が、オンラインで参加してくれたことはとても嬉しい出来事だった。

SNSの普及により、関心を同じくする人同士が世界のどこにいてもオンラインで出会ったりコミュニケーションを深めたりすることが可能になっているが、これまで積み重ねられてきた人間関係や運動の連帯を基盤として、リアルな出合いの場を提供することの意義が失われたわけではない。今回の青年交流会では、初対面の青年たちが国境を越えて友情を深め、その関係性を一過性のものに終わらせたくないと感じてくれた。上の世代にとっても、脱原発と気候正義運動の深い関わりを意識し、アジア地域の脱原発運動ネットワークも含めて脱原発運動を次世代に継承していくために、まず何から取り組むべきなのかを大いに教えられる機会となった。



2. 成果物

1. 「[韓国・気候正義行進 & 東アジア脱原発青年交流会【報告】](#)」(2024.10.18)
および「ノーニュークス・アジアフォーラム通信」190号
2. 韓国・脱核新聞 10月号「[アジア脱原発連帯の道](#)」(東アジア脱原発青年交流会・報告)(2024.10.10)
3. YouTube映像「[気候正義行進 in ソウル\(1分動画\)](#)」(2024.9.21)
4. YouTube映像「[韓国気候正義行進・東アジア脱原発青年交流会\(3分動画\)](#)」(2024.10.12)
5. YouTube映像「[報告会:韓国・気候正義行進&東アジア脱原発青年交流会](#)」(2024.10.28)